

『看護研究 4 回目研修』 研修会実施報告

日時 : 令和 4 年 10 月 8 日 (土) 8 : 30 ~ 17 : 15
対象者 : ラダー II を目指す者
参加者数 : 6 名 (卒後 4 年目 6 名)
目標 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り看護の方向性を養うことができる

< 講師の紹介 >

畿央大学
健康科学科 理学療法学科
教授 福森 貢 先生

健康科学部 看護医療学科
准教授 對中 百合 先生



< 内容 >



今回の研修は、実施した調査データを分析する為、たくさんある検定方法の中から、どの検定を活用すれば、自分達の研究に応じた、分析結果へ導くことが出来るのかについて、福森先生に教えて頂きました。慣れない検定作業に戸惑いながら、収集したアンケート結果や、調査データを入力することができました。データの入力後には、自分達で立てた仮説から、新たな発見ができ、嬉しそうに研究へ取り組んでいる姿が印象的でした。次回の考察に向け、検定結果を整理し、分析を深めていけるよう取り組んでほしいと思います。

午後からは、各グループに分かれて、それぞれの研究課題に取り組みました。困った際には助言を頂きながら、1つ1つ課題を解決することが出来ていました。對中先生より論文の書き方について、丁寧かつ詳細にご指導頂きました。研究と名のあるものにしていくには、論文を作成するまでの文献検索が重要となることや、分析から得られる結果の根拠となるものを、明らかにしていくことの必要性について学ぶことができました。

これから、本格的な論文作成へと入っていきます。教えて頂いたことを活用しながら、頑張ってくださいと思います。